

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



特別編『国見のたからもの』

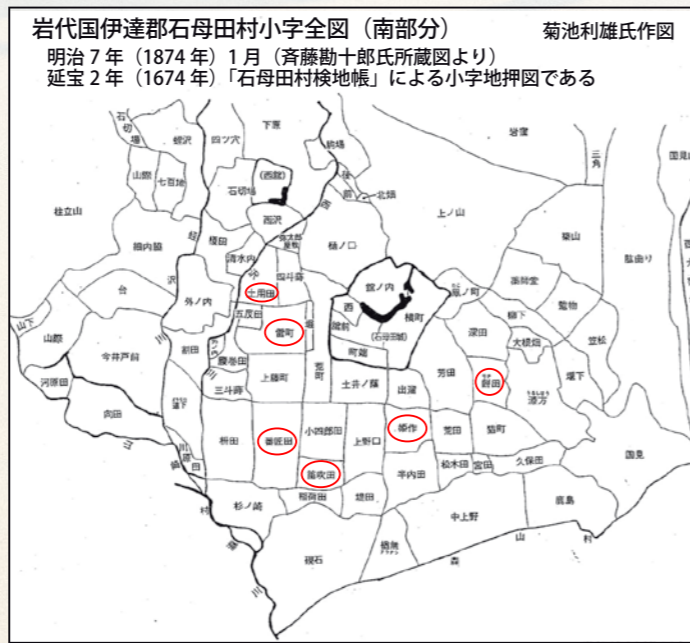
今月号の歴史まちづくりは、昨年9月号で最終回を迎えたコーナー『国見のたからもの』特別編をお届けします！みなさんも、自分の住んでいる地域の「たからもの」を見つけてみませんか？

中世石母田の水田地名～歴史の索引～

地名とは、言語や民俗、信仰、文化など、その地に暮らした人々の歴史を表しています。しかし、時代の流れで歴史的意味を持つ地名は変化し、かつての地名を知らずにその地に住む人も増えています。

武士が暮らした時代から水田にも地名が付けられていました。石母田城跡の近くの田んぼも31の水田地名が付けられていました。そのうちの一部を紹介します。


- 餅田（もちだ）
その名の通り、もち米の栽培を表す地名で、石母田城主に供するもち米を作る水田と想像されます。
- 笛吹田（ふえふきでん）現：字樹田
文治5年（1189年）奥州合戦のおり、鎌倉軍兵士を檢閲する源頼朝に笛で合図した場所と伝わっています。また、中世石母田郷鎮守の瀧口神社の祭祀田（米を売り、祭りの費用とするための田んぼ）ともいわれています。
- 姫作（ひめづくり・ひめさく）
城の女性（姫・奥方）達の化粧料（生活経費）を賄う水田だったと考えられます。
- 土用田（どようだ）現：字四斗時
土用（7月下旬）の頃にやっとなんた田植えができる田んぼで、なんとかが稲が実ることにちなんだ地名です。
- 番匠田（ばんしょうでん）現：字樹田
古代の都で働く大工達が仕事の順番を組んだことに由来しますが、石母田では城で働く大工達の賃金を賄う水田だったと推測されます。
- カミナリ集落 現：字藤ノ町
昭和44年の東北自動車道の工事で移転を余儀なくされた集落で、旧地名が雷（いかずち）町だったことから通称として呼ばれていました。




徳江沼田神社の本殿彫刻～二十四孝の道德教育～

江戸時代の終わりごろ、徳江河岸近くの沼田神社本殿に、中国儒教の故事「本朝二十四孝」のうちの5作と日本の「養老の滝」を題材とした1作、あわせて6作の彫刻が造られました。作者は上方の工とも、高成田村（伊達市保原町）の長谷川雲橋ともいわれています。今回はその故事にちなんだ彫刻の一部を紹介します。

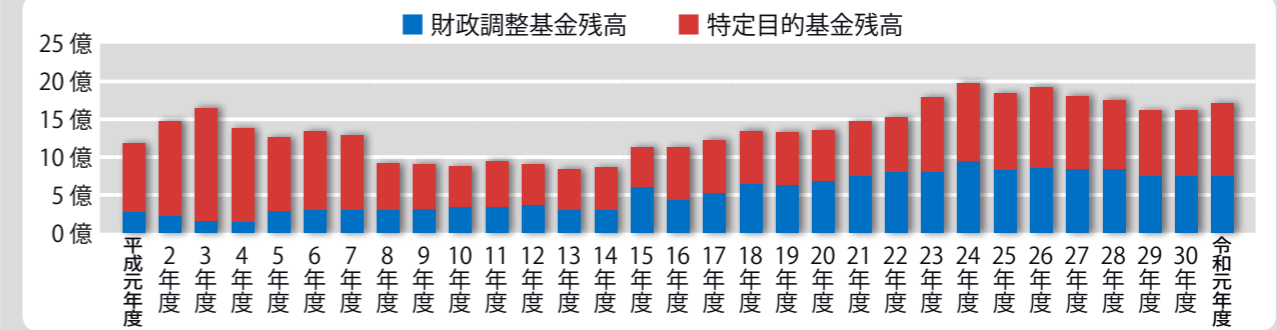
●剋子（えんし）
剋子は、眼を患う年老いた両親のため、眼薬になると聞いた鹿の乳を手に入れようと鹿の皮を身につけ、苦勞して、乳を手に入れました。その時、獵師が剋子を鹿と間違え射ようとしたが、人間と分かり射られずに済み、無事両親に乳を飲ませることができました。



●張孝・張礼（ちょうこう・ちょうれい）
ききんの時に木の実を拾いに行った張礼は、盗賊に食べられそうになりました。張礼は「高齢の母が腹をすかせて待っています。食事をさせたらすぐに戻るの、少し時間をください」といって家に帰り、母の食事を済ませた後に戻りました。兄の張孝はこれを知ると盗賊の所へ向かい「太っている私を食べて、弟を助けてください」と言い、張礼は「約束なので私が食べられます」と互いを守ろうとしました。非道な盗賊も兄弟の孝行心に感動し、2人の命を助け沢山の米と塩を与えました。兄弟はそれを持ち帰り、さらに孝行を尽くしました。

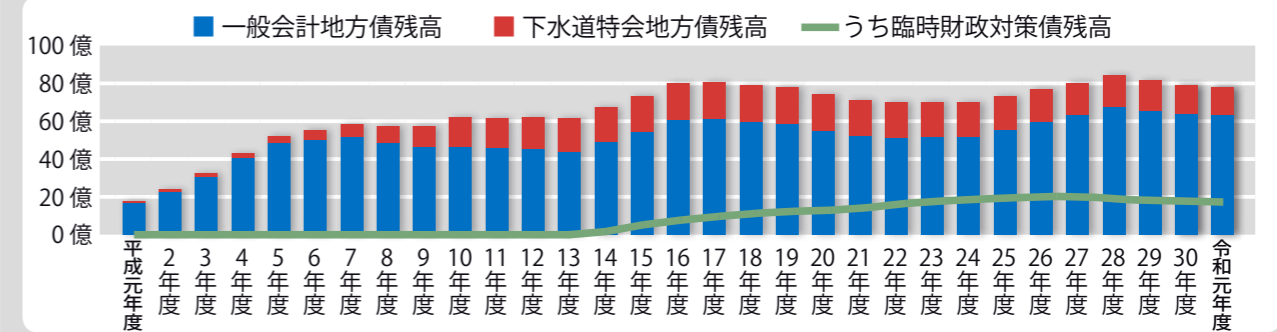


基金（貯金）残高の推移



●震災以降は、さまざまな復旧復興事業に充当するため、基金が減少傾向でしたが、30年度末に増加傾向に転じました。今後見込まれる災害復旧復興事業や公共施設などの改修事業に備えたため、令和元年度末の基金残高は、前年度よりも9,600万円増加しています。

地方債（借金）残高の推移



- 平成28年度末がピークで、今後は横ばいを見込んでいます。
- 地方債残高の60%から70%が国から普通交付税として後年度に交付されます。

各特別会計の当初予算

会計名	令和2年度	令和元年度	増減率
大木戸財産区特別会計	16万円	16万円	+ 0.6%
入山財産区特別会計	19万円	19万円	+ 1.0%
公共下水道事業特別会計	2億4,870万円	2億3,166万円	+ 7.4%
後期高齢者医療特別会計	1億4,295万円	1億2,470万円	+ 14.6%
国民健康保険特別会計	10億6,062万円	10億6,801万円	△ 0.7%
介護保険特別会計	13億8,745万円	13億2,627万円	+ 4.6%
土地開発事業特別会計	3,410万円	4,630万円	△ 26.3%
渇水対策施設特別会計	1,003万円	5,476万円	△ 81.7%

水道事業会計の当初予算

項目	令和2年度	増減率	項目	令和2年度	増減率
収益的収入	2億4,622万円	△ 8.2%	資本的収入	1,403万円	+ 218.7%
収益的支出	2億5,440万円	△ 3.5%	資本的支出	8,695万円	△ 61.2%